社会資本総合整備計画書
（社会資本整備総合交付金）
（盛岡市）

令和2年1月30日

社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和01年12月23日

計画の名称	第２期　賑わいのある市街地の基盤づくり													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	盛岡市													
計画の目標	Ⅰ　にぎわいのある市街地の形成 ・地域内への人口定着を図るため，公共施設の整備改善と良好な宅地を整備し，にぎわいのある健全な市街地の基盤づくりを行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	8,087	A	8,087	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R２当初	R４末	R6末
1	・区域内における，計画人口に対する定着人口率。			
	区域内人口 Σ区域内人口／Σ区域内計画人口×100（%）	74%	75%	76%
2	・区域内の，建築物戸数。			
	区域内建築物戸数（世帯数） 建築物戸数（世帯数＝戸）	20875戸	21144戸	21342戸

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000361700

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	区画	改築	太田地区（(都)下太田新田屋敷田線ほか）	区画整理77.2ha	盛岡市	■	■	■	■	■	3,527		―
	A01-002	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	（他）下太田234号線ほか	現道拡幅L=1.3km	盛岡市	■	■	■	■	■	537		―
	A01-003	街路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	区画	改築	道明地区（(都)西仙北北川線ほか）	区画整理21.7ha	盛岡市	■	■	■	■		750		―
	A01-004	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	（他）市道西仙北向中野2号線ほか	道路改築Ｌ＝3.0km	盛岡市	■	■	■	■	■	3,003		―
	A01-005	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	（他）市道石持線ほか	現道拡幅Ｌ＝0.4km	盛岡市	■	■	■	■		122		―
	A01-006	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	（他）市道碇堰線ほか	道路改築Ｌ＝0.3km	盛岡市	■	■	■			148		―
											小計						8,087		

案件番号： 0000361700

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						8,087		

事前評価チェックシート

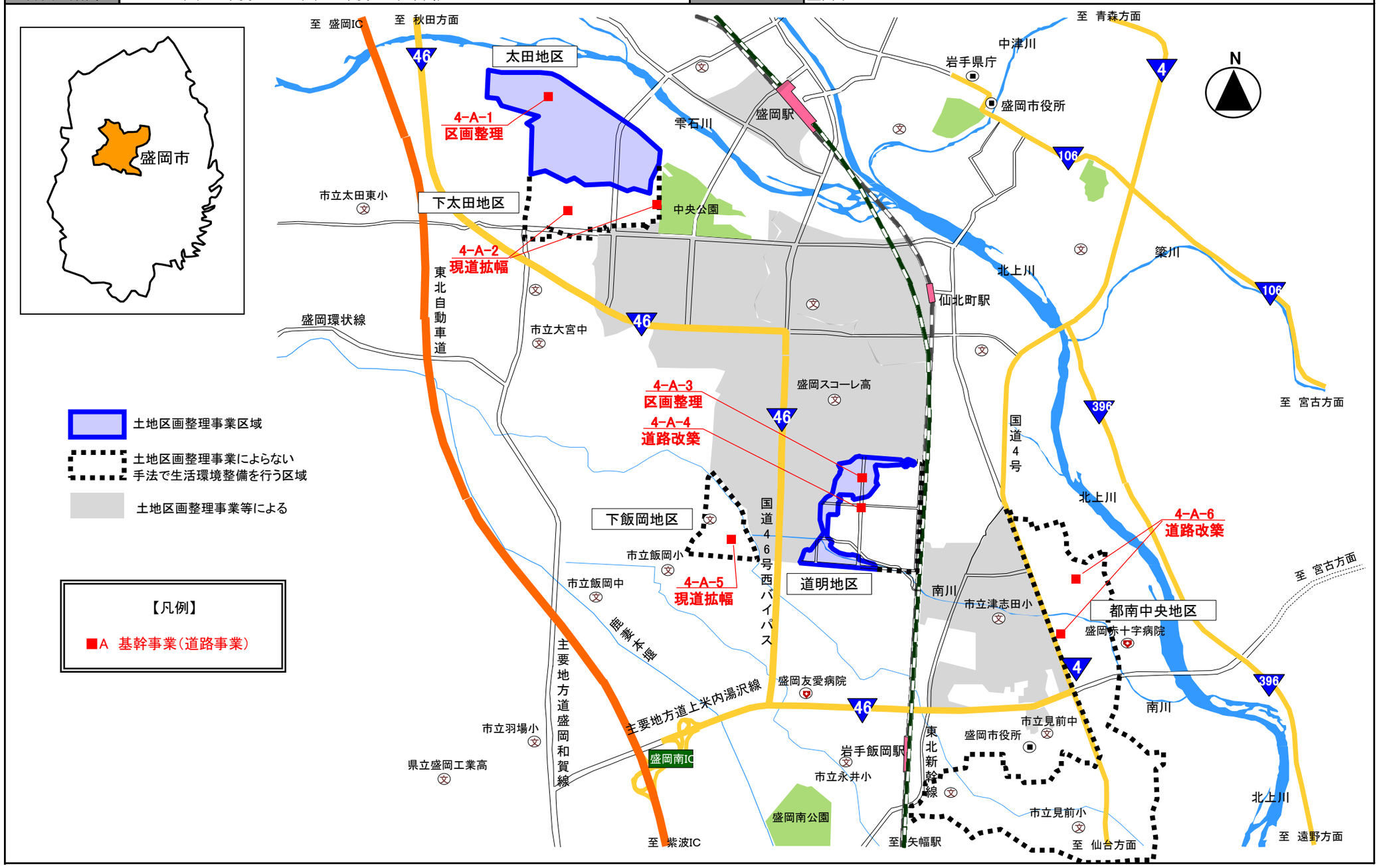
計画の名称： 第２期　賑わいのある市街地の基盤づくり

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合	
I.　目標の妥当性 １）計画の目標が市町村の総合計画［盛岡市総合計画］と適合している。	○
I.　目標の妥当性 ２）計画の目標が「盛岡市都市計画マスタープラン」と適合している。	○
II.　計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性	
II.　計画の効果・効率性 １）目標と指標・数値目標の整合性がある	○
II.　計画の効果・効率性 ２）指標・数値目標と事業内容の整合性がある	○
II.　計画の効果・効率性 ３）指標・数値目標が市民にとって分りやすいものになっている	○
II.　計画の効果・効率性 ③事業の効果	
II.　計画の効果・効率性 １）目標に対して十分な効果を得られる事業で構成されている	○
II.　計画の効果・効率性 ２）ハードとソフトの連携が図られている	○
III.　計画の実現可能性 ④計画の具体性	
III.　計画の実現可能性 １）ハード整備の必要性が整理されている	○
III.　計画の実現可能性 ２）ソフト施策の目的が明確である	○
III.　計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境	
III.　計画の実現可能性 １）計画の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている	○

案件番号：0000361700

（参考図面）

計画の名称	4　賑わいのある市街地の基盤づくり		
計画の期間	令和２年度　～　令和６年度　（5年間）	交付対象	盛岡市



交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R02	R03			
配分額（a）	826	571			
計画別流用増△減額（b）	0	0			
交付額（c=a+b）	826	571			
前年度からの繰越額（d）	559	562			
支払済額（e）	823	877			
翌年度繰越額（f）	562	256			
うち未契約繰越額(g)	438	104			
不用額（h = c+d-e-f）	0	0			
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	31.62	9.17			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算を追加したため				

案件番号：